



3 国有林野の林産物の供給

3 国有林野の林産物の供給

(1) 計画的な収穫の実施

公益的機能の発揮を基本とする管理経営を進める中で、平成12年度には、自然環境の保全等に配慮しつつ、491万 m^3 の木材を収穫しました。主伐^注量は前年度よりも30万 m^3 減少して202万 m^3 となりましたが、間伐量は32万 m^3 増加して289万 m^3 となりました。

間伐については、効率的に進めるため、一定の広がりのある区域を対象に、作業路の開設を組み合わせた間伐実施計画を公募する方式に新たに取り組みました。

また、民有林からの供給が期待しにくい樹種や形態の木材等については、多様な森林を有するという国有林野の特性を活かして、計画的な供給に努めています。

平成12年度には、木造文化財等の修復に必要な特殊な木材や^{ひわだ}檜皮の慢性的な不足に対処するため、これらを安定的に供給するための森林づくりにも取り組みました。

表－18 収穫の実施状況 (単位：万 m^3)

区 分	平成12年度	(参考)平成11年度
主 伐	202	232
間 伐	289	257
合 計	491	488

表－19 民有林からの供給が期待しにくい樹種の素材(丸太)供給実績 (単位：万 m^3)

樹 種 名	平成12年度	(参考)平成11年度
ヒ バ	3.8	6.0
木曽ヒノキ	1.0	1.4
秋田スギ	0.5	0.5

事例 「文化財資源備蓄林」の設定

四国森林管理局では、文化的価値の高い歴史的木造建築物や伝統的な建築様式の伝承等に必要で大径材や長尺材、^{ひわだ}檜皮等の需要に応えるため、安芸森林管理署管内の資源の循環利用林において、スギ、ヒノキの人工林3カ所、約84haを、「文化財資源備蓄林」として設定しました。

(四国森林管理局安芸森林管理署)



場 所：高知県安芸市 ^{のがわやま}野川山国有林 安芸森林管理署管内
 説 明：写真は、新たに設定された「文化財資源備蓄林」の遠景（左下）と林内の様子（右上）です。

(2) 林産物等の販売

平成12年度の木材販売量は、立木販売^{注)}については16万 m^3 減少して274万 m^3 に、素材(丸太)販売^{注)}については12万 m^3 減少して57万 m^3 になりました。

国有林野にしかない樹種や大径材については、公共建築物や社寺等の建築や改築に必要な特殊規格材として販売するなど、有利な販売に努めました。また、インターネットを活用し、販売に関する情報の提供等にも積極的に取り組みました。

このように収入の確保に努力しましたが、木材価格の下落や主伐収穫量の減少により、林産物等の販売収入は300億円にとどまりました。

表－20 林産物販売の状況

区 分	平成12年度		(参考)平成11年度	
	数 量 (万 m^3)	金 額 (億円)	数 量 (万 m^3)	金 額 (億円)
林産物等収入	-	300	-	357
立木販売	274	95	290	118
素材販売	57	193	69	227
そ の 他	-	12	-	12

注：1 数量は、立木販売については立木材積で、素材販売については 素材(丸太)材積で示している。

2 「その他」は、官行造林収入、分収育林官収分収入、緑化木売払代等である。

表－21 国有林材の販売単価の動向

年 度	(単位：百円/ m^3)									
	平成 3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
立木販売	80	65	63	54	51	55	49	38	35	31
素材販売	346	312	325	326	332	360	314	291	326	337

注 販売単価は、立木販売については立木材積単位、素材販売については素材(丸太)材積単位の年間平均単価(実績)で示している。

表－22 公共建築物等への供給事例

区 分	樹種	材積(m3)	内 容
公共工事	スギ	197	高知県内の「ふるさと林道大柵線」の木橋架設工事に当たり、民有林からは供給が困難なスギ集成材用材として、スギを供給しました。 (四国森林管理局)
公共建築物	木曽ヒノキ	37	環境省自然保護局中部地区自然保護センター事務所の「上高地ビジターセンター」の新築用資材として、木曽ヒノキを供給しました。 (中部森林管理局) (右ページ写真参照)
	カラマツ、スギ	156	長野県和田村から、小学校校舎の建設に地元産の高齢級材を使用したいとの要請を受けて、カラマツとスギを供給しました。 (中部森林管理局) (右ページ写真参照)
社寺	木曽ヒノキ	50	20年に1度の伊勢神宮の遷宮に備え、神宮司庁からの要請を受けて、木曽ヒノキを供給しました。 (中部森林管理局名古屋分局)
彫刻	青森ヒバ	25	青森県青森市浅虫で開催された「第1回彫刻シンポジウムin浅虫」における彫刻用資材として、青森ヒバを供給しました。 (東北森林管理局青森分局) (右ページ写真参照)

公共建築物等への国有林材の供給事例



場 所：長野県南^{あづみ}安曇郡安曇村（写真左上）、長野県小^{ちいさがた}県郡和田村（写真右上）、青森県青森市（写真下）
 説 明：写真は、中部山岳国立公園内上高地に建築中の「上高地ビジターセンター」（左上）、長野県和田村における木造の小学校校舎の内装（右上）、天然青森ヒバの原木を彫刻している様子（下）です。